

キラリ レポート

市民編集委員の
視点から

川村はるみさん

～いっどこで起こるともしれない？ もしもに備えて～ 清瀬市総合水防訓練に初めて参加してきました

近年、集中豪雨による床下浸水や道路冠水、大規模な土砂災害などが至るところで発生し、私たちの生活へも支障をきたす状況にあります。これから迎える梅雨の時期や台風に備え、5月11日に行われた「清瀬市総合水防訓練」に参加しました。その模様をお伝えします。

令和、初の訓練開始

毎年、新緑の季節に行われる水防訓練。今年は、清小が舞台です。訓練当日、天気にも恵まれ家族連れなど多くの市民が参加されました。

体育館では、避難所運営委員の皆さんを中心に、避難所の開設や運営、生活エリアの設営が行われていました。災害時には、この初動動作を迅速に行うことが、とても重要なことになるといいます。

また、おとなに混じり小・中学生の参加も見られ、受け付けや誘導、備蓄品配布など緊張しながらも対応する姿は、頼もしく思えた場面です。



避難所開設・運営訓練



簡易間仕切りシステムと段ボールベッド

もし、災害が起きたら…ここ体育館が避難所となり、避難所生活が長期化することもあります。今回、被災地の東北や熊本でも活用された「簡易間仕切りシステムと段ボールベッド」が展示され、とても関心を集めていました。紙管をフレームとし、四方を布でかけるだけで完成です。基本ユニットは、2m×2mと狭い空間ですが思いのほか落ち着けました。災害時は、市との協定により避難所への配布ができると知り安堵しました。

誰もが地域の力になるために

校庭では、暑い日差しのなか消防団員の指導のもと、救出救助体験や土のう・水のう作りも体験できました。

私は、土砂や強風で倒壊した家屋からの救出訓練を体験。周囲の安全確認を行い、工具のジャッキで隙間を作り、人形（重量40kg）を救出します。1人での救出作業は大変でしたが、コツを教えてい



救出救助訓練

ただきなんとか救助できました。「助けることができた」という達成感が持て、いざという時の自信に繋がれば…と思います。

また、災害時に空から支援するドローンブースもあり。実際に、校庭を飛行する場面も見学でき、多くの人の注目を集めていました。

水の脅威を体感



半地下・地下室水圧体験装置の体験

大雨により、半地下室や地下室などに雨水が流れ込み、水圧でドアが開かなくなる状況を体験できる「半地下・地下室水圧体験装置」では、水深50cmの水圧ドアに、小学生の兄弟が挑戦していました。

まずは、お兄ちゃん1人で挑戦。力いっぱいドアのぶを押しますが、びくともしません。今度は、兄弟2人がかりで対抗。ドアが開いた時には、「開けられたぞう～」の歓喜の声に自然と拍手がおこりました。水深50cmだと扉にかかる力は約87.5kg。かなりの重さになります。

私も、挑戦してみましたが大人数でもかなりの力が必要です。また、ドアが開き、一気に水が流れ込む様子には少し恐怖を感じました。

当たり前のことですが、日ごろからできる土のうや水のう、止水板の用意が大切だと実感しました。

体験を終えて

以前、防災講座で心に留めた言葉を思い出します。「日ごろから市民の活動力を高め、地域力をつけておくことが災害に強い地域になる」。その言葉がすっーと心に落ちました。地域を支える避難所運営委員の皆さんの存在、消防団員の献身的な活動を目の当たりにし、私自身しっかりと知識を持ち、家族や地域を支える力になりたいと思いました。

消費生活相談の 現場から

あやしい儲け話に
ご注意ください

誰でも簡単に儲かる話は
ありません

【事例1】

SNSに簡単に儲かる話があるとダイレクトメールが送られてきた。私が興味を示すとビデオ通話による説明会に案内され「起業する場合何百万円という費用がかかるが、20万円を払うだけで確実に儲けることができる」「このビジネスは参加する人を増やすとマージンが支払われる仕組みだがアフリエイト（※1）で簡単に人集めが出来る」などと説明された。空いている時間を利用して簡単に報酬が得られるのであればやってみたいと思い20万円をクレジット決済した。

ところがアフリエイトでは全く人は集まらず、簡単に儲かるというセールストークは20万円を支払わせるための嘘だと気づいた。

【事例2】

突然「必ず勝てるFX（※2）自動売買ソフトをプレゼントする」という電話がかかってきた。業者によると1000ドルをたったの3年で100万ドルに増やした実績のあるソフトだという。ソフトを使ってFXの取引を開始するにあたり、500ドル入金するように言われ、



クレジット決済した。

その後、勧誘業者と連絡が取れなくなった。

【アドバイス】

「誰でも」「必ず」「簡単に」「儲かる」ビジネスは世のなかにはありません。それに関わらず怪しい儲け話を信じ、被害に遭う人が後を絶ちません。またインターネットやSNS上では簡単に高額収入が得られることを強調する広告や宣伝が氾濫し、被害を助長しています。

ビジネスの具体的な仕組みに不明点があるにも関わらずメリットだけを強調するセールストークには注意し、少しでも怪しいと感じたらきっぱりと断りましょう。

消費生活センター ☎042-495-6212（相談専用）

※1 インターネットを利用した成果報酬型の広告宣伝の1つ。

※2 外国為替証拠金取引（外国の通貨を交換・売買し、その差益を目的とした金融商品）。

市史で候 mini

防災無線と夕やけこやけ

「市史で候」五十の巻
「防災無線と夕やけこやけ」より

「夕やけこやけのチャイム」は「防災無線」を通じて流されているのをご存じでしょうか。

防災無線が市内に取り付けられたのは、昭和49年。このころ、緊急でお知らせする防災情報とは、光化学スモッグ情報でした。

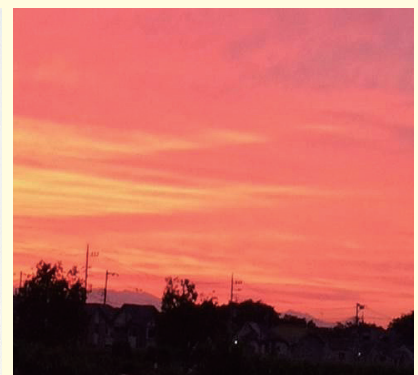
チャイムは、同じく昭和49年、無線設置に少し遅れて始まります。

このチャイムについて、昭和54年にこんな疑問を寄せた人がいました。

～なぜ、清瀬のチャイムはきっかりの時間ではなく5分ずれているのでしょうか～

昭和54年のチャイムの時間は、季節によって4時5分や6時5分など。

疑問に対する市の答えを簡単にまとめると次のとおりです。



本編をご覧になるには

市ホームページ…トップページ＞市政情報＞広報＞清瀬市ブログ
プリントアウト版…市内の各図書館でご覧いただけます